

第32回 NISSAN CUP 神奈川トライアスロン大会 競技運営マニュアル

(一社) 神奈川県トライアスロン連合
技術代表 杉浦 真由美

第32回 NISSAN CUP 神奈川トライアスロン大会のテクニカルオフィシャル(以下TO)としてご協力をいただくことになり、ありがとうございます。日産自動車追浜工場内という特異な環境での競技運営は、他大会とは違った配慮が必要であることを認識していただきますようお願いいたします。この『競技運営マニュアル』については、必ず事前に内容をご確認下さい。

※集合時間と場所 遅れる場合は必ずご連絡をお願いします。070-3236-2277(県連合事務局)
時間/5:00/レースディレクター(加藤稔)・技術代表(杉浦真由美)・総務(杉浦博)
6:00/審判長・各パートチーフ・各パートサブチーフ
7:00/TO
7:15/ボランティア
場所/大会本部前

※大会当日の注意事項

【審判員としての心得】

- * 審判員は尋ねられる。
⇒レース開始時間、スイム・バイク・ランの周回数、トイレ・更衣室の場所、バイクピックアップ時間等
答えられるように準備する。選手最終案内は必読。
- * 審判員は見られている。
⇒挨拶は率先して行う。選手への言葉遣いは丁寧に。業務以外の写真撮影は禁止。
- * 持ち場で起こり得ることを事前にシミュレーション。
⇒選手が転倒した場合、コースミスをした場合等持ち場で起こり得ることを想定し、対応を考えておく。
- * 持ち場のボランティア、警備員と意思の疎通を図る。

【服装等】

- * TOポロシャツに黒のスラックスまたはカーフパンツを着用。TOポロシャツをお持ちでない方はTOベストを着用。
TOベストをお持ちでない方は貸与します。事前に県連合事務局にメールでお知らせ下さい(info@kn-tu.or.jp)。
- * サングラスは、色の薄いものは使用を認める。
- * ルールブック、審判員資格証、筆記用具は必ず持参すること。
- * ホイッスル、イエロー/レッドカードをお持ちの方は持参。
- * 雨具は透明レインコート等を準備(傘は不可)。

※重要事項

- * 車両を傷つける恐れのある危険物(安全ピン、釘など)の一切の会場内の持ち込みを禁止。レースナンバーの装着は『配布するゴム』または『ナンバーベルト』を使用する。安全ピンの使用は禁止。
- * 工場内は完成車が多く保管されている。選手、応援の方が立ち入り禁止区域内に入らないよう留意する。
- * 会場でのゴミは、持ち帰りとする。ゴミ箱の設置はなし。(参加者全員にビニール袋を配布)

※前日(16日)の設営にご参加いただける方へ

(浅野拓哉・稲田隆俊・佐藤正利・陣川学士・鈴木陽輔・武田広明・野間秀樹・松村一彦・柳志延)
集合は、10:00に大会本部前です。昼食を支給します。
(レースディレクター、技術代表、審判長、総務は9時集合)

* 前日及び当日の連絡先：070-3236-2277（県連合事務局）
 * ボランティアの集合時間は7：15です。各パートチーフは、集合場所からボランティアの方々を引率し、配置場所と業務内容の説明をお願いします。

※スケジュール

	スプリント／リレー 中学生・高校生	選手権	一般／リレー
受付	7：45～8：45		
開会式	8：45～9：00		
競技説明会	8：45～9：00	9：35～9：45	9：20～9：30
入水チェック	9：05～9：12	9：55～10：10	11：00～11：25
競技開始	9：15	10：15	11：30 (101～200)
			11：33 (201～300)
			11：36 (301～400)
			11：39 (401～601)
閉会式／表彰式開始	10：50（予定）	15：30（予定）	

※制限時間

	スプリント／スプリントリレー 中学・高校生	選手権 一般／一般リレー
スイム	スタートより45分	スタートより60分
バイク	スタートより1時間30分	スタートより2時間40分
フィニッシュ	スタートより2時間30分	スタートより4時間00分

※距離と周回数

	スプリント／スプリントリレー 中学・高校生 S400m B20km R3km	選手権 一般／一般リレー S1,500m B40km R10km
スイム	100m×2往復	750m×2周回
バイク	6.6km×3周回	6.6km×6周回
ラン	2.9km×1往復+0.1km	3.3km×3往復+0.1km

※リレーの部に限りスイムスキップを認める。スイム競技の途中リタイア、制限タイムオーバーに関わらず、リレーの部スイム競技制限時間終了後の10：00（スプリント）／12：39（一般）に一斉スタートする。計測は行うが記録は参考とする。

※スイムでは『レスチューブ』の持ち込み装着を許可する。但し、利用した場合（膨らませた場合）はDNFとする。

審判団の担当業務

審判長

- 1) TO統括
- 2) TOミーティングの招集と統括
- 3) 競技開始前の競技説明(適用する競技規則、ローカルルール、その他注意事項)
- 4) スターター
- 5) 競技記録の承認
- 6) TOミーティングでの競技規則違反者裁定(警告/失格)と公表

スイムパート ※水中での活動となる前提で、水着を準備して下さい。

- 1) 競技開始前の水温・気温計測と報告(8時30分。掲示板にて計測報告)
- 2) アンクルバンド配布、ウェーブごとの整列、スタート位置への誘導
- 3) 入水選手人数確認(計測用アンクルバンド着用の確認)⇒人数確認はカウンターでチェック
- 4) 選手レースナンバー(腕または手の甲)及びスイムキャップ着用確認
- 5) スタート時フライングチェック
- 6) コーナー部ショートカットのコントロール
- 7) 出水選手人数確認(リタイヤ選手、タイムオーバー選手の確認)
- 8) トランジションエリアまでの陸上コース監視(観客のコントロール)
- 9) スイム競技審判

ポイント

1. アンクルバンドを装着してからトイレ利用、トランジションへ引き返したい選手は、計測機器を避けて通行させること。棧橋を下りてからの逆戻りは認めない。
2. 定刻通りにスタートするために早めのコールを。
3. ウェットスーツのレンタルはなし。

※スイムパート終了後は、ランパートへ応援に入る。

バイクパート ※競技用ヘルメットを準備できる方はご用意ください。

- 1) バイク先導
- 2) 危険個所での選手誘導
- 3) 危険走行、ドラフティング、キープレフトのチェック
- 4) 体調不良およびリタイヤ選手の確認
- 5) 最終選手の確認
- 6) バイク競技審判

ポイント

1. バイクスタート周辺の路面状態が悪い場合、事前確認をして必要に応じ安全対策を講じる。
2. テストコース入口(バイク9地点)要注意。
コースが狭く勾配が急な坂。陸橋を渡り、下りきった所を右に90°カーブ。陸橋区間は追い越し禁止を徹底すること。
3. 工場内コーナー部に砂が溜まっている場合は、スリップ防止のため除去。
4. ドラフティング禁止、キープレフトの徹底。声かけとジェスチャーでアピールする。

ランパート ※マウンテンバイクとヘルメットを準備できる方はご用意ください。

- 1) ラン先導
- 2) 選手、観客の誘導
- 3) 折り返し点A・B・C周回チェック
- 4) 競技選手のレースナンバー表示の注意
- 5) 最終選手の確認
- 6) 体調不良およびリタイヤ選手の確認
- 7) ラン競技審判

ポイント

1. 周回チェックの輪ゴムを配布。
2. 「ラン14」でフィニッシュと周回に分かれるため、余裕を持って適切に誘導する。
3. 前あきファスナーウェアを着用しファスナーを下げて競技をしている選手を見かけたら、ファスナーを上げるよう伝える。
4. 脱水症状に十分注意。水分補給を促し、話しかけて反応を確認する。危険な場合は速やかに報告をする。

トランジション

- 1) 許可者以外のエリア立入禁止
- 2) エリア内でのバイク乗車禁止
- 3) ヘルメットの確認（規定外のヘルメット使用していないか?）
- 4) ヘルメット・ストラップの着用チェック
- 5) レースウェア及びレースナンバー表示の注意
- 6) ペットボトル装着チェック（専用ゲージを除く）
- 7) バイク乗車ライン／降車ラインでの乗車／降車の注意
- 8) 体調不良、リタイヤ選手の確認
- 9) リレー部門の選手引き継ぎの監視

ポイント

1. レースナンバー装着の確認。バイクは背中、ランは正面。
2. S→Bリレー：バイク選手は、アンクルバンドを受け取ってからバイクラックへ。
3. B→Rリレー：バイク選手は、バイクをラックに掛けてからリレーゾーンへ。

フィニッシュ

- 1) 着順判定(フィニッシュライン上)
- 2) 周回数チェック（輪ゴムの数を確認）
- 3) 「レースナンバーを正面」「サングラスはずす」の指示
- 4) フィニッシュ選手人数／タイムオーバー選手の集計
- 5) アンクルバンドの回収確認

ポイント

1. 着順判定用表を準備する。
2. フィニッシュ付近で選手が滞留しないよう誘導する。
3. メディア（写真撮影）撮影場所の配慮。

共通事項

- 1) 大会前ＴＯミーティング参加
- 2) 競技終了後ＴＯミーティング参加、審判結果報告

その他

- 1) 随時、必要と判断される事項は本部へ連絡のこと。(医師／救急車要請等)
- 2) 注意／警告等に該当するルール違反選手については、レースナンバーの他に時間と場所を記録すること。
- 3) リタイア時の対応は、レースナンバーと氏名を確認しアンクルバンドを回収する。各パートチーフから審判長に報告しアンクルバンドを返却する。
- 4) 公益社団法人日本トライアスロン連合競技規則及び、大会ローカルルールに従い競技する。

事前の競技運営についての質問は、技術代表 杉浦真由美へお問い合わせ下さい。
メールの宛先（下記の二か所へお願いします。）

- ① mayumiqt@yahoo.co.jp
- ② info@kn-tu.or.jp

以上